

教育委員会だより ～学(まなぶ)～

6月1日号

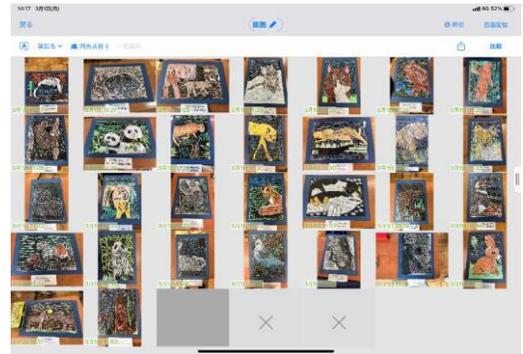
▷学校教育課 0566-95-0136

知立市 GIGA スクール構想の現在 ～一人一台端末がどのように活用されています～

市内の全小中学生に端末が配布されてから4か月が経ちました。各学校でどのように活用されているか、その一部をご紹介します。

① 図工や家庭科の作品鑑賞

児童の作品をそれぞれ写真に撮って協働学習支援アプリの提出箱に提出し、鑑賞を行いました。鑑賞で思ったことをカードに書いて、作品を作った子に送っています。作品は拡大して見ることもできるため、細部にまでしっかりみることができます。



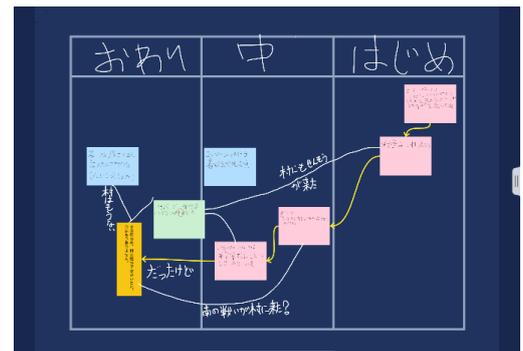
② 充実する調べ学習

都道府県調べを、協働学習支援アプリを使って行いました。静岡県の地図画像を右図のように張り付けることができ、その地図画像とともに具体的に位置を示しながら、情報を書き込むことができます。これにより、自分だけの都道府県紹介が作成でき、発表を行うことができました。



③ 物語の内容を整理

付箋のようなカードに物語のキーワードとなる部分を書き出して、それらのつながりをシンキングツール(右図の表)にまとめてつなげていくことで物語の全体を把握できました。付箋は、色分けしたり、何度も書き直すことができます。キーワードの部分は、学級全体で共有でき、自分一人では見つけきれない部分や見逃していた部分にも気づくことができました。



ここに紹介した3つの活用例は、ほんの一部であり、他にも本の音読や楽器の演奏、歌を歌う自分自身を録画し、再生しながら客観的に自らを評価したり、英語学習においては、発音の再生スピードを自ら操作し、何度も聞きながら正しい発音を練習したりと様々な活用がされるようになってきました。

今後も、知立市情報教育研究推進委員会が中心となって、様々な活用事例を各学校に紹介し、誰一人取り残さない学びを追究していきます。